

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

会派 夢みらい

矢吹安子、赤井康彦、小川喜三郎、安藤博、辻真理子、八木嘉之、有馬裕次

(2) 実施日：

2013年8月5日、6日

【1. 調査の目的】

(1) 本市における現状

彦根城築城400年祭や井伊直弼と開国150周年等を通して、観光客数も増加する中で特産品の販売や開発が進まず、彦根ブランドの開発販売戦略が急がれ必要な状況である。

また、彦根市の特別支援教育は、幼稚園、保育園、小学校、中学校の中で連携が進んでいるものの財政的な問題や人的な問題等でまだまだ行き届いたシステムとは言えない現状である。

(2) 本市における課題

彦根ブランドの開発と商品化、市民の意識の向上など戦略的な計画が必要であり、彦根井等は商品化されたものの販路拡大も滞っており、市民の意識を向上させることも課題の一つである。

また、特別支援教育における対応は、国や県との連携はもちろんのこときめ細やかな対応をもって児童生徒に接する事が望まれる他、先生と児童生徒、先生と保護者との連携は図られつつあるものの保護者同士のコミュニケーション不足などまだまだ現状の課題は多いと考える。

【2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目

- 特産品の販路拡大について
- 特別支援教育について

(2) 選定地1：

長崎県佐世保市

選定地2：

長崎県長崎市

選定地3：

【3. 調査結果】

(1) 内容

- 特産品の販路拡大について
 - ・ 特産品の中で行政支援を行い、産地と一体となって重点的な特産品開発を行う
 - ・ 現在5品目を選定（市独自の選定基準を設ける）
 - ・ させぼ☆スター商品は、市民と共働・協創で作り上げていった（4年計画）
 - ・ 福岡にアンテナショップ公設民営「キトラス」をオープン
 - ・ キトラスは、3市（長崎、雲仙、佐世保）で設立。物販、飲食、ツアーデスクの設

置（バスツアー中心）

- ・人口規模は違うが各市の負担は均等割り
- ・J Aとの連携ではなく、市独自の政策である
- ・市の広報でお中元やお歳暮販売のためチラシに申込用紙を記入し、全世帯に配布
- ・海外進出も考慮中でアンケートを実施中。秋には、韓国でテストマーケティング実施予定
- ・佐世保バーガーは、地元食材を使っていて、作り置きしていないものを佐世保バーガーとしている

○ 特別支援教育について

- ・サポートファイルを幼稚園時等でのことを教育研究所の指導主事が記載する
- ・現在100人を対象としており、保護者の要望等も書き込む
- ・診断書等のコピーもファイルしている。
- ・保護者の了解で小学校へ引き継ぐ。
- ・一人でも該当児童生徒がいれば特別支援学級を設置している
- ・希望する学校には、支援員を配置し、学期ごとに配置転換している。
- ・コーディネーターを全校で指名。学校によっては3から4名の指名もある。
- ・卒業後の支援などが課題

(2) 考察

今回の視察において特産品の販路拡大について特筆すべきは、アンテナショップを県外に設けていること。市民と共に考えスター商品を開発した事。等があげられる根底にあるのが生産者のやる気であると力説されておりました。市民や生産者をやる気にさせる取り組みをわが市でも考え実行する必要があると感じます。

また、特別支援教育では、サポートファイルの充実があげられ、わが市では、園児から中学校までのファイルの充実が今後の課題と言えそうであります。更に長崎市でも保護者同士の連携や中学卒業以降についてはまだまだ取組めていない状況であり、わが市でも同様であり対応が急がれると感じる。